



令和6年12月20日(金)発行
校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

- 相手の立場に立って考える思いやりのある子ども
- すすんで学び、自ら考え、表現する子ども
- 元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

- 安全な学校 ○温かい学校
- 笑顔があふれる学校
- 「中島小大好き」と言える学校
- 成長(学習)し続ける学校
- 保護者・地域・関係機関と連携する学校

租税教室が行われました!(6年生)

私たちが安心して生活していくためには、警察、消防、道路、公園など、私たち個人や民間の団体だけでは行うことができない公共サービスや公共施設が必要です。

税金は、これらの公共サービスなどを行うための主要な財源であり、私たち一人一人が税を身近なものと考え、税の意義や役割を正しく理解することも、私たちが社会生活を行う上で重要なことです。

そこで、次代を担う子どもたちに、税がこの社会で果たしている役割の重要性を正しく理解し、関心をもってもらおうと、学校に講師をお招きして「租税教室」を実施するなどの租税教育を行っています。

租税教室の目的は、小学校6年生に税金の「意義(必要性)」と「役割(使途)」を正しく理解してもらい、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考える自覚を養うものです。

本校では、12月5日(木)、北九州東県税事務所の方をゲストティーチャーにお迎えして、租税教室を行いました。自分たちの周りの様々なことに税金が使われていることなど、たくさんのお話を学ぶことができました。次は中学校3年生の社会科「公民」で詳しく習うことでしょう。おうちの方ともぜひ、税金について話題にしてください。

《租税教室の内容》

- ①税の種類(国税・地方税)
- ②消費税について
(日本の税率と各国の税率)
- ③マリンとヤマトの不思議な日曜日
(租税教育用ビデオの視聴)
- ④身近に使われている税
(教育費、ゴミ処理費用、警察・消防費)

【あらすじ】

大地の妖精コッピとクッピを助けたマリンとヤマト。「何でも願いをかなえよう!」妖精の言葉に2人が考えたことは…?

毎日の暮らしの中

で税がどのようなところに使われているかを学んでいきます。

ウェルカム!おはなし会&旅する展示会

図書委員会が、3日間、昼休みに読み聞かせを行いました。12月5日(木)に高学年、6日(金)に中学年、9日(月)に低学年を対象に、13時05分から13時15分までの10分間、図書室にて実施しました。3日間とも大盛況で、絵本や紙芝居を図書委員が読んでくれているのを耳を澄まして聴き、楽しい場面では思い切り笑い、呼びかける場面では一緒に大声で呼び、そして帰りには図書委員手作りのしおりをもらって、みんな大満足でした。

また、おはなし会と同じく12月5日(木)から9日(月)まで、中島小学校の図書室で、「旅する展示会」が開催されました。「旅する展示会」とは、子ども作家と大学生が共同で絵本制作を行う「えほんプロジェクト」で作られた手作りの絵本を、図書館や学校に巡回展示する活動です。廃材のスーツケースを再利用して作った展示用の棚に本を展示します。

「旅する展示会」の中でのおはなし会。きっと、読書の世界を楽しむことができたでしょう。とてもステキなおはなし会でした。

まちたんけんに行ってきました!(1・2年生)

12月5日(木)、1・2年生合同ではまち探検に行ってきました。生活科の単元「あきとともだち」「みんなでつかうまちのしせつ(つたえたいな まちのすてき)」の学習の一環です。小倉城や北九州市役所の周辺を歩き、秋の様子を感じたり公共施設を側で見学したりしました。袋いっぱい拾ってきた松ぼっくりや色とりどりの落ち葉は、後日の作品づくりで使いました。

理科の出前授業がありました!(6年生)

12月9日(月)、6年生の出前授業をしていただきました。以前にも紹介しました、北九州の企業人による「小学校応援団」による理科の出前授業です。今回の講師は、西部ガスの方です。次世代を担う子どもたちが、エネルギーや環境についての理解や関心を高めてくれるようにと、「地球に優しいアロマキャンドルを作ろう」ということでアロマキャンドルを作って火を付けたり、液体窒素でバラの花をカチカチにししたりと、楽しい実験も交えながら、『ガスの安全教室』の授業をしてくださいました。とても貴重な体験をすることができました。